

公益社団法人 日本水産学会
令和4年度第7回理事会議事録

1 開催された日時 令和5年2月4日(土) 13時00分～16時48分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数

総数17名、定足数9名

4 出席理事総数 15名

(Web会議システムによる出席)

東海 正、山下 洋、中田 薫(報告事項15時50分に退席)、潮 秀樹、
廣野育生、佐野元彦、落合芳博、河村知彦、大嶋雄治、木村暢夫、栗田
豊、八木信行、奥村卓二、澤田好史(第4号議案審議中13時19分に着
席)、有瀧真人、吉田照豊

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

佐藤秀一、良永知義(第1号議案審議13時13分に着席)、野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

横田賢史、神尾道也、小糸智子(報告事項中15時12分に着席)、壁谷尚樹、
加藤豪司、團 重樹

7 オブザーバー

(Web会議システムによる出席)

古川史也、マーシー・ワイルダー(第6号議案審議中13時33分に着席)、
蒲原 聡、大越和加(令和5年度秋季大会委員長、令和5年度秋季大会の
報告後13時13分に退席)

8 議 案

決議事項

- | | |
|--------|---|
| 第1号議案 | 「会費免除」の件 |
| 第2号議案 | 「増員による令和5年度役員(理事)候補者の決定」の件 |
| 第3号議案 | 「令和5年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である
事項」の件 |
| 第4号議案 | 「大会規程の一部改正」の件 |
| 第5号議案 | 「公益社団法人日本水産学会ホームページ著作権ポリシー」の件 |
| 第6号議案 | 「令和5年度事業計画」の件 |
| 第7号議案 | 「インターネットバンクの開設およびその利用に向けた会計処理規程
の一部改正と内規の制定」の件 |
| 第8号議案 | 「国際交流委員会の会計について」の件 |
| 第9号議案 | 「著者負担金回収不能金の雑費処理について」の件 |
| 第10号議案 | 「寄附金の使途」の件 |
| 第11号議案 | 「令和5年度資金調達及び設備投資の見込み」の件 |
| 第12号議案 | 「令和5年度予算」の件 |

- 第 13 号議案 「令和 4 年度日本水産学会論文賞の決定」の件
第 14 号議案 「令和 5 年度各種委員会委員長選出」の件
第 15 号議案 「令和 5 年度各種委員会委員選出」の件
第 16 号議案 「名誉会員會田勝美氏の追悼文掲載」の件
第 17 号議案 「令和 4 年度資格喪失者」の件
第 18 号議案 「第 20 回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」の件
第 19 号議案 「協賛」の件
第 20 号議案 「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」の件
第 21 号議案 「入会承認」の件

報告事項

- ① 第 6 回理事会以降の職務遂行の状況
- ② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

東海会長が、定足数の充足、及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 令和 5 年度秋季大会の報告

大越大会委員長から、令和 5 年度秋季大会の開催概要と準備状況についての報告があった。以下の日時と場所で対面開催する予定であるが、7 月末に感染状況を考慮して開催方式を決定する旨の説明があった。

日程 令和 5 年 9 月 19～22 日

場所 東北大学農学部・コモンズ

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第 29 条に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨を宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「会費免除」の件

廣野総務担当理事から、会費免除の承認について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 2 号議案 「増員による令和 5 年度役員（理事）候補者の決定」の件（別紙 1）

廣野総務担当理事から、増員による令和 5 年度役員（理事）候補者の決定について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 3 号議案 「令和 5 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件

廣野総務担当理事から、令和 5 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

日 時 令和 5 年 5 月 10 日 17 時 00 分～18 時 30 分

場 所 東京海洋大学品川キャンパス

目的である事項

- ・令和 4 年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件

- ・名誉会員推薦の件

- ・増員による令和 5 年度役員（理事）選任の件

第 4 号議案 「大会運営規程の一部改正」の件（別紙 2）

廣野総務担当理事から、大会運営規程の一部改正について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

第 5 号議案 「公益社団法人 日本水産学会ホームページ著作権ポリシー」の件（別紙 3）

潮企画広報担当理事から、公益社団法人日本水産学会ホームページ著作権ポリシーについて原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 6 号議案 「令和 5 年度事業計画」の件（別紙 4）

廣野総務担当理事と横田総務幹事から、令和 5 年度事業計画について原案の説明があった。審議の結果、原案を一部修正のうえ出席理事全員一致で別紙の通り可決した。本件について次の質疑応答があった。

潮理事 「水産学若手の会では、令和 5 年度春季大会で開催を予定していたナイトポスターセッションを実施しないこととなった。該当箇所の削除をお願いする。」

東海会長 「事業計画 2（3）j）水産学若手の会②の該当箇所を削除する。」

栗田理事 「事業計画 4（3）b）東北支部③の秋季大会高校生による研究発表会における表彰について、大会委員長から表彰することになるのか。」

東海会長 「そのように考えている。」

第 7 号議案 「インターネットバンクの開設およびその利用に向けた会計処理規程の一部改正と内規の制定」の件（別紙 5）

佐野財務担当理事から、オンラインバンクの利用について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致でオンラインバンクの開設を認めるとともに会計処理規程の一部改正およびオンラインバンク利用に関する内規について別紙の通り可決した。

第 8 号議案 「国際交流委員会の会計について」の件

佐野財務担当理事から、国際交流委員会の会計について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

本件について次の質疑応答があった。

東海会長 「諸外国におけるインフレと円安にともなう海外出張に必要な経費高騰に対応する措置とのことであるが、旅費支給額の上限は規程で定められているのか。」

佐野理事 「支給額の上限は規程で定められていない。このため、予算書の見積り額を上限として運用している。年度ごとに単価表を作成して支給額の上限を決めることになるので、今後規程を整備する必要がある。」

第 9 号議案 「著者負担金回収不能金の雑費処理について」の件

佐野財務担当理事から、日本水産学会誌と **Fisheries Science** の著者負担金回収不能金の雑費処理について原案の説明があった。審議の結果、原案を一部修正のうえ出席理事全員一致で可決した。

本件について次の質疑応答があった。

山下理事「未納者の 1 名と面識があるが、未納を認識していない可能性がある。本人に確認を取りたいが、雑費処理を待つことは可能か。」

八木理事「未納者の 1 名と面識があり、未納を認識していない可能性があるので交渉したい。本件についても雑費処理を待つことは可能か。」

佐野理事「該当する 2 件を本年度の雑費処理から除くこととする。この 2 件について、著者負担金を回収できない場合には次回の雑費処理に含めることとする。」

第 10 号議案 「寄附金の使途」の件

佐野財務担当理事から、寄附金の使途について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 11 号議案 「令和 5 年度資金調達及び設備投資の見込み」の件（別紙 6）

佐野財務担当理事から、令和 5 年度資金調達及び設備投資の見込みについて原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 12 号議案 「令和 5 年度予算」の件（別紙 7）

廣野総務担当理事から、令和 5 年度予算について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

本件について次の質疑応答があった。

廣野理事「令和 5 年度の受取協賛金の予算額が令和 4 年度と比較して少ないのはなぜか。」

佐野理事「受取協賛金については、そのほとんどが学会大会の協賛金である。令和 4 年度は例外的に多額の協賛金が集まったが、令和 5 年度については、春季および秋季の大会事務局からの協賛金見込み額を元に、令和 3 年度以前の予算額を参考として計上しているため、令和 4 年度と比較して少ない額となっている。」

第 13 号議案 「令和 4 年度日本水産学会論文賞の決定」の件（別紙 8）

落合編集担当理事から、令和 4 年度日本水産学会論文賞の決定について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 14 号議案 「令和 5 年度各種委員会委員長選出」の件

廣野総務担当理事から、令和 5 年度各種委員会委員長選出について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

企画広報委員会 黒瀬光一

水産教育推進委員会 鈴木直樹

令和 4 年度に引き続き令和 5 年度も委員長を務める者

編集委員会 岡田 茂

シンポジウム企画委員会 深田陽久

国際交流委員会 廣野育生

水産政策委員会 牧野光琢

第 15 号議案 「令和 5 年度各種委員会委員選出」の件

廣野総務担当理事から、令和 5 年度各種委員会委員選出について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。なお、学会賞選考委員会の委員長が未定となっているが、学会賞選考委員委員の中から互選によって委員長が選出されるため、令和 5 年 3 月 13 日に開催される委員会で決定する予定である旨の説

明があった。

第 16 号議案 「名誉会員會田勝美氏の追悼文掲載」の件

東海会長と廣野総務担当理事から、日本水産学会誌と Fisheries Science に掲載する名誉会員會田勝美氏の追悼文について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 17 号議案 「令和 4 年度資格喪失者」の件

廣野総務担当理事から、令和 4 年度資格喪失者の対象となる会員氏名が示され、2 月末日までに滞納会費が支払われることでその氏名を除くという原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 18 号議案 「第 20 回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」の件

大嶋学会賞担当理事から、第 20 回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 19 号議案 「協賛」の件

廣野総務担当理事から、協賛について原案の説明があった。審議の結果、以下の協賛を出席理事全員一致で可決した。

第 16 回日本電磁波エネルギー応用学会研究会

主 催 日本電磁波エネルギー応用学会

協 賛 触媒学会 他 9 団体

日 程 令和 5 年 1 月 23 日

場 所 オンライン開催

希 望 協賛

負担金 なし

第 20 号議案 「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」の件

廣野総務担当理事から、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせについて原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 21 号議案 「入会承認」の件

廣野総務担当理事から、入会承認について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

(報告事項)

① 第 6 回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長から、以下の報告があった。

- 1) 令和 4 年 12 月 9 日に第 2 回水産・海洋科学研究連絡協議会がオンラインで開催され、各学会の情報を交換するとともに日本学術会議の開催内容についての報告があった。
- 2) 令和 4 年 12 月 10 日に海とさかな自由研究作品コンクールの受賞表彰式があり、水産学会会長賞を授与した。
- 3) 令和 5 年 2 月 11 日に日本農学会の総会と日本農学賞の選考会が開催される予定である。

・庶務関係

廣野担当理事から以下の報告があった。

- 1) 資格喪失者（会費未納）のうち会費を納入した以下の者を退会へ変更したことが報告された。
白川北斗（正会員、令和2年度資格喪失）
- 2) 弔慰事務要領について、現状にあわせて一部修正したことを報告した。修正について出席理事の承諾を得た。
- 3) 以下の協賛1件について、「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」の3)を適用して承認した。

Techno-Ocean 2023

主 催 テクノオーシャン・ネットワーク

協 賛 日本海事広報協会 他 69 団体

日 程 令和5年10月5日～7日

場 所 神戸国際展示場（兵庫県神戸市）

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

潮担当理事から、令和5年1月5日に企画広報委員会を開催し、学会ホームページの著作権ポリシー等について審議した旨の報告があった。

・財務関係

佐野担当理事から、令和4年12月20日に今井一郎会員より寄附金50,000円を受け取った旨の報告があった。

・編集関係

落合担当理事から、令和5年1月24日に編集委員会を開催し、論文賞の選考を行うとともに、プレプリントで公表済みの論文の Fisheries Science への投稿を承認するための規程改正の検討を進めているとの説明があった。また、依頼総説の執筆対象者として、水産学進歩賞受賞者に水産学奨励賞受賞者も加えることとなった旨の報告があった。

・学会賞関係

大嶋担当理事から、第1回選考委員会を令和5年3月13日に開催予定であるとの報告があった。

・シンポジウム関係

河村担当理事から、シンポジウム企画委員会を令和5年1月20日に開催し、令和4年度秋季大会で開催したシンポジウムについて、e-水産学シリーズでの刊行推薦を承認した旨の報告があった。

・出版関係

山下担当理事から、e-水産学シリーズに関する恒星社厚生閣への聞き取り調査についての報告があった。恒星社厚生閣としては、出版に前向きであるとのことであった。また、e-水産学シリーズの企画から出版までに要する期間に関する報告があった。シンポジウム開催前にあらかじめ企画書を編集委員会に提出することで、企画から出版までの期間を約1年間に短縮可能である旨の説明があった。

本件について次の質疑応答があった。

栗田理事「シンポジウム開催後に e-水産学シリーズでの出版を打診されたことがあり、

その際には企画書の提出から出版まで 1 年半以上を要した。シンポジウムの開催前に企画書を出すことで期間を短縮可能であるとのことを理解した。」

東海会長「シンポジウムの企画段階で出版委員会に企画書を提出するとともに、原稿作成についても前もって進めると良いのではないかと考える。シンポジウム企画委員会や各懇話会と出版委員会が連携をとって進めてほしい。」

山下理事「出版委員会と出版社の編集作業の都合により年間 3 冊までの発刊が限度であることについても合わせてご理解いただきたい。」

・水産技術誌監修関係

有瀧担当理事から、順調に編集が進行中であるとの報告があった。

・国際交流関係

佐野担当理事から、令和 5 年度の会計処理方法に関する検討を進めている旨の報告があった。廣野委員長から、アメリカ、イギリス、および韓国の関連団体から令和 5 年度春季大会への代表者の参加が予定されているとの報告があった。

・水産教育関係

中田担当理事 特になし

・水産政策関係

八木担当理事 特になし

・漁業・資源管理関係

東海会長 特になし

・水産利用関係

落合担当理事から、令和 5 年 2 月 20 日に委員会と海洋生分解性プラスチックに関する講演会を開催予定であるとの報告があった。

・水産増殖関係

佐野担当理事から、令和 5 年度春季大会での懇話会の開催に向けて準備中である旨の報告があった。

・水圏環境関係

大嶋担当理事から、令和 5 年度春季大会でシンポジウムを開催予定であるとの報告があった。

・男女共同参画関係

中田担当理事から、令和 5 年度日本水産学会春季大会においてジェンダー関係の無意識のバイアスについてのランチョンセミナーを開催する予定である旨の報告があった。

・水産学若手の会関係

潮担当理事から、令和 5 年度日本水産学会春季大会において発表行なわない学部学生の無料参加を募集中であること、また、春季大会においてシンポジウムを開催予定であるとの報告があった。

・社会連携関係

木村担当理事 特になし

・将来計画関係

山下担当理事 特になし

- ・北海道支部、地域連携関係

木村担当理事から、令和4年11月26日に北海道支部大会をオンラインで開催し、公開シンポジウムと講演会（16件の研究発表、80名の参加）を実施した旨の報告があった。

- ・東北支部、地域連携関係

栗田担当理事から、令和5年2月17日に東北支部例会を開催予定であり、定年退職する会員によるオンライン講演を予定している旨の報告があった。

- ・関東支部、地域連携関係

八木担当理事から、令和6年度春季大会について、東京海洋大学Bが担当することが決まった旨の報告があった。

- ・中部支部、地域連携関係

奥村担当理事から、支部幹事会をメール開催して活動計画と予算について審議し、支部大会一般研究発表を令和4年12月17日にオンライン開催して7題の研究発表と32名の参加があったことが報告された。

- ・近畿支部、地域連携関係

澤田担当理事から、令和4年12月3日に開催した支部例会において特別講演と9題の研究発表があり、優秀な発表に対して表彰を行った旨の報告があった。また、支部幹事会をメールで開催し、事業計画と予算を承認したとのことであった。

- ・中国・四国支部、地域連携関係

有瀧担当理事から、支部幹事会をメール開催し、活動計画と予算について審議するとともに、来年の支部例会については対面での開催に向けて準備中である旨の報告があった。

- ・九州支部、地域連携関係

吉田担当理事から、令和5年1月7日に支部総会と研究発表会を対面開催し、40名の参加と16題の研究発表があり、学生の発表に対して優秀発表賞を授与した旨の報告があった。

- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）

山下担当理事から、2冊の書籍について執筆作業中である旨の報告があった。

- ・財務検討委員会（特別委員会）

佐野担当理事から、1月6日に財務特別委員会を開催し、インターネットバンクの使用および国際交流委員会の会計に関する検討を行った旨の報告があった。

②その他確認事項

(1) 学会賞受賞者講演の座長と会場係について

廣野総務担当理事から、学会賞受賞者講演の座長と会場係について照会があり、各所に理事及び幹事が配置された。

(2) 理事会の開催日程について

廣野総務担当理事から、次回の理事会は令和5年3月27日（月）13時からWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、16時48分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和5年2月4日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事